

23/2/17 天守閣部会
名古屋市民オンブズマンによるメモ

14:00

荒川主幹：はじめる

所長欠席 代読

今年度末までに基本計画をまとめる方針 2か月を切った
貴重な意見を賜りたい

出席者紹介

愛知県欠席

教育委員会、竹中工務店、安井建築設計、名古屋城
写真、ビデオ撮影はこれまで
構成員机上配布 函面編 23 頁
前回からの積み残し 8 章

瀬口：事務局から説明を

長ければ途中で切って

荒川：きりの良いところで切る

進捗管理表

バリアフリー、完成後の維持保全・修繕計画 3月に提出予定

豊富な史資料

観覧環境整備も

復元原案+反映 復元計画

どの部分にどう反映するか 史実にどう影響するか

1-10 搦め手馬出 消防車入れる 平面表示にする

竹中工務店：8-2

原則旧来の材料・工法で

建築としての基本性能を高める

8-3 こうなるためにこうする→そうではなく

五重は宝暦大修理後も緑青だったのでは

経年変化を可視化 人工緑青→採用しない

金シャチ 思いを継いでいくバトン・シンボルとして現天守閣金シャチを継承利用

荒川：いったん切る

14:23

瀬口：意見を

川地：本丸とは馬出も含めて

多門櫓があったはず

慶勝写真 畳多門

将来構想なら、消防車が侵入するための障害物はいいとしても、
多門櫓は書くべきではないか

私は絵を3Dで描いたことがある

本丸多門櫓 影 格子狭間 引き戸が入っていた
窓は史実に忠実な復元という意味でも表現すべき

荒川：陰になっている

頂いた意見を検討して諮りたい

瀬口：ほかには よいか なければ次

竹中工務店：8-5 構造計画

日本建築センターの性能評価を受ける

解体後に穴蔵石垣調査を行い、あらためて検討する
基本的な考え方を示している

復元原案の構造性能を検討

→不足する場合は補強計画

できる限り意匠を損なわない構造

最大層間変形角

基礎構造の検討

- ・文化庁が定める基準を順守
- ・天守台本来の遺構には新たに手を加えない
- ・人命安全確保を第一

基礎構造の検討例は整理中

8-6 方針 現状を把握したうえであらためて検討

ケーソン基礎を石垣を壊さず撤去することは不可能

ケーソン基礎を引き続き使用して復元を行うことは可能

構造補強 復元原案は構造性能を満足していない

基礎構造が確定したのち、あらためて解析する

防災・避難

内部火災での煙 避難ルートが1つに限られる

対策1-5 安全に避難できる

現代は二方向非難 3階-4階 階段1こ付加

4階-5階 入場制限をする

表階段がある部屋 自動閉鎖する建具付加

5階 救助袋式避難ハッチ

8-8 右側中断断面図 黄色が遮煙

水平に動く摺戸

8-9

8-10~8-17 平面ごとに図示

8-18 3-4階1か所階段付加 手すり付加

5階→4階救助袋

避難はしご

黄色い床 遮煙 ほんざめつき

板壁 やといざめを入れる

堅格子に耐熱強化ガラスをはめ込む

8-20 吊環 強度的に問題が→現代的に

8-20 8-21 水色がスプリンクラーの包含範囲

8-23 放水銃と放水範囲

本丸御殿に延焼防止 放水銃を5本立てる

8-24 避雷設備

8-25 防災設備

8-26 基本的な設備計画 トイレはつけない 空調換気設備、機械排煙設備は設けな

い

電気 天守までの引き込みルートは整理中 次回に出す

8-28 照明計画 空間を浮かび上げる

荒川：いったん切る

14:47

瀬口：質問ご意見は

川地：避難計画 8-8 適切な在館者数の管理

2500人を上限 1-5対策することで、非常時安全に避難できる

根拠を確認したい 以前記憶 オープン366万人来館

休日の最大20000人 開館時間が8時間 均等にならず

市の予測 竣工時400万人を超える 422万上限

休日2万人は相当超えると思う

竹中 調査結果 来館者調査 1日のうち均等に来るわけではない

相当3-4時に集中してくる

何が何でも2500人 相当難しいと思う
竣工 2030年くらい 75歳以上全人口の2割を占める
障がい者・車いす以上に高齢者の階段の上り下り 歩行困難者がかなり来る
2500人に抑えても、階段周辺の混乱は予測される
適切な来館者数 人的管理は難しいと思う
AI、IOT デジタルツイン 現実空間で起こった現象をデジタル空間でシミュレーション
現実空間にフィードバック
人的管理ではなくデジタル技術で対応しないと大変なことに
・4-5階人数を制限する
デジタル化、ビジュアル化 在館者も把握できる 能動的に動ける 必要ではないか

荒川：運営面、高齢者

運営面は今後日進月歩の技術 どういうものが活用できるのか
管理に役立てたい

避難 正門から南 階段体験館 モックアップ
インスタントシニア 白内障になる眼鏡 体に重り サポーター
高齢者のように動きにくい 階段降りるスピード
実際に計測して避難の時間を計算
2500人難しいオペレーション 避難が可能と考える

瀬口：観光とか万博 昭和44年

観客のシミュレーション
かなり変わって、近年の観光地 予約制
来た人を全部入れるのではなく、予約した人だけを入れるように
1時間2500人でも多いかもしれない
安全に見てもらえるためには、来た人をすべて入れるのはやめた方がいい

荒川：研究して対応

瀬口：次の説明を

14:57

荒川：8-29 公開活用

完成後

名古屋城博物館、西の丸御蔵城宝館
次のページには観覧ルートを記載する予定

施工時

穴蔵石垣発掘調査過程公開

江戸期遺構現地説明会

15:03

瀬口：意見は

三浦：8-29 近世武家文化

近世城郭は城下町まで含める

名古屋は徳川宗春 町人文化が栄えた

「近世武家文化および町人文化」

荒川：博物館構想も含めて参考にさせていただく

瀬口：全体を通して意見を

私から 説明していないところ そのことによって構造計画

発掘調査で基本方針を示した

ほかのところもあると思う

荒川：はい

瀬口：メンテナンス 吊環 消防隊進入口

漆喰の壁が一部破損 瓦がずれた

進入口 どこか出ていけるのか

高所作業車をもってこないといけないか

竹中：東面消防隊

縦格子を外して外に出れる

瀬口：外に出て吊環で作業ができる

姫路城と同じ

麓：今日の目次 最後に図面編の2 現天守閣 このあと？

荒川：今日は説明しないつもり

麓：意見 精度があらう

どういう目的か 理解できない

昭和実測図は詳細

この現天守閣の図面はあまりにも荒いし不正確

これを木造整備基本計画 このままで出すには認められないと思う
それぞれの各階の平面図 荒い図
6頁 屋根のふせ図 瓦のわりつけ 荒いし不正確
前々から現天守の記録保存話題 この程度のもので記録保存と考えてはいけない
この程度の図面 図面編の2 理解できない
もっとしっかりとした図面をつけて

荒川：すみませんでした

瀬口：あやまっただけか

荒川：対応する

古阪：シリアとトルコ 大変な地震
日本ものすごい暑さ JRがおかしくなった
日本の技術力の見直しどこまでいっているのか
ちょっと上 年間生まれた人250万人
去年70万人
もう少し考えないと
地球変動が強烈に起こっている
名古屋 隣の県 豊橋 水で困っている
名古屋城 そうではない 全体としては名古屋地域 難しい
JR 名古屋-京都 湯をかけている
名古屋城 よく考える必要が
世界の中で地球変動が起こってしまっている
竹中 建築の世界ナンバー1 自信をもってやって
新しい見方をやってるよ
名古屋城をきちんとやっていく

瀬口：赤いところが黒くなってきた
あと1月ちょっと まとめる方向に進んでいる
次回以降は8章の積み残し
図面、資料 引き続き天守閣部会でも議論
今日出されたAI 在館者数 検討して会議に諮って
議題終了

荒川：ありがとう

15：16